

川口市民オンブズマン 御中

川口市政に関する公開質問状 回答

1、故岡村幸四郎市政に関する評価と目指す市政

ご逝去されて間もない政治家の評価は差し控えさせていただきます。

目指す川口市政ですが、マニフェスト(別紙)に記載した政策を中心に、笑顔あふれる街。安全で安心して暮らせる、生きがいのある街を目指します。

2、情報公表制度

貴会ご指摘のように、情報公開制度の運用において、情報公開請求者から手数料を徴している自治体は少なく、資料の複写代のみを求めている自治体が大部分です。

これは、住民が保有する、いわゆる「知る権利」を保障し、行政活動に対する住民の関心を高めることにより、住民の政治参加を進めるという目的がある以上、情報公開制度において手数料を徴することは、その性質上そぐわないと思われま

しかし、近年では情報公開制度の創設当初は想定できなかったような、同一請求者による情報公開の大量請求や、事業者等からの商業的利用のための請求、本市の住民以外からの請求も数多く見られるようになってきているのも事実です。

このような状態は、本市の事務執行を停滞させる事態を招いたり、情報公開制度の運用に関するコストを増大させる要因ともなっています。

商業利用のための請求が65%以上あるとの説もあり、手数料廃止による安易な開示請求の増大に伴う行政事務の停滞や、請求事案への対応に要する行政コスト勘案の必要性、請求者以外の市民との負担の公平を図る観点から適切な額の手数料徴収の必要性はあると思われま

手数料廃止の場合には濫用防止策の検討が必要となり、手数料の廃止については否定的な立場を取らざるを得ません。

3、川口市の財政

●自主財源比率の低下について

自主財源比率の低下については、リーマンショック以降の長引く不況の影響で市税収入は減少しています。

少子高齢化、福祉関連費用の増加、人口減少による納税人口の減少により、今後も厳しい状況が続くと思われま

今後は、事業所の誘致や市税の滞納対策等を見直し、自主財源の確保が重要な課題と認識しています。

●悪化する経常収支比率について

経常収支比率は、人件費、扶助費、公債費等の義務的性格の経常経費に、地方税等の経常一般財源収入がどの程度充当されているかを表し、団体の財政構造の弾力性を判断する指標であるが、概ね70~80%の間に分布するのが妥当とされる

止めがかからないことによります。

この状況を打開するには、4年間で約2300万円の市長退職金を廃止し、トップ自ら身を削り、行財政改革を主導しなければならないと考えます。

●市債と将来負担の増加への懸念について

大型プロジェクトの新市庁舎におきましては、230～280億円との試算が出されていますが、水道庁舎や鳩ヶ谷庁舎分も含む4万㎡もの庁舎が必要か？再検討しなければなりません。支所機能を充実させれば、大きな市庁舎は必要なくなり、100億円以上の経費の節約ができます。

大型プロジェクトを含め、各事業においても市民参加の事業仕訳を導入し、経費の節減に努め、市債の減少を計る図らなければなりません。

4、名誉市民条例・公葬

川口市名誉市民条例の制定された時期及び経緯を考慮すると、「スッキリしない」と言うのが率直な感想です。

公葬については、一部団体等の私物化を想像させないよう配慮し、最小限の経費で最大限の弔意を表せばよいと考えます。

川口市長選挙 予定候補者 近藤 豊

こんどう豊はやります!

主要政策 その1

新市庁舎は「市民投票」で!

- ・新市庁舎の建設地について、市民不在のまま決められてしまいました。“場所”だけでなく“規模や機能”も含め、「市民投票」で決めざるべきです。
- ・鳩ヶ谷庁舎、各支所、駅前連絡室で取り扱える事務を増やし、利便性向上を図ります。

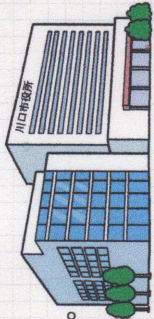
最大280億円と過大に試算されている 新庁舎建設費を100億円削減

- ・削減したお金で小・中学校にエアコンを設置します。

主要政策 その2

基盤整備の充実と災害に強いまちづくり

- ・災害用非常食・飲用水、非常用備蓄品（非常用発電機・毛布・簡易トイレ等）の備蓄量を増やし、各地域の防災倉庫の充実を図ります。
- ・ゲリラ豪雨への対策強化・市内道路の冠水対策を実施します。
- ・芝・新郷・安行・里・辻などの区画整理事業や密集市街地総合整備事業を推進し、市内の均衡ある発展を目指します。
- ・デマンドバスなどの新しい公共交通を導入し JR・SR を補完する市内交通網を整備します。
- ・防災公園を整備し、災害時の復旧拠点となるBBQ 広場を設置します。



主要政策 その3

子育て支援策の充実を!

- 空き店舗を活用して保育所設置を推進し、待機児童をゼロに!
- 休日保育と一時保育の拡大を図り、予約の必要のない駆け込み寺的一時保育の実施をします。
- 病児・病後児保育施設を川口市北部の医療センター内に設置すると同時に、派遣型の病児保育への補助を創設します。



主要政策 その4

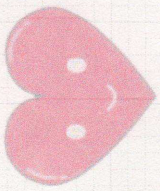
教育環境を整備します!

- 早急に小中学校の普通教室にエアコン設置します。
- 通学路の安全対策の強化とともに、保護者等の負担軽減のために専門の交通指導員を配置します。
- 小学生の放課後の居場所をつくります。(児童センター・プレイパークを各地区に設置)
- 市立介護・福祉専門学校を設立します。



5、プロの視点で介護の充実を!

- ・特別養護老人ホームの待機者解消をプロの視点から目指し、介護現場職員の待遇を改善します。



6、福祉・医療の充実を!

- ・がん検診(胃・大腸・子宮・乳・肺・前立腺)の自己負担額を500円にします。
- ・任意予防接種費用の助成拡充を推進します。
- ・小児科医院・産婦人科医院・医療センターの誘致します。
- ・小児夜間救急医療センター化の早期実現を目指します。
- ・成年後見制度利用支援事業の充実を図り、市民後見人を活用した制度普及を推進します。



7、市内経済の活性化

- ・中小企業の販路拡大のため、広域産業交流・連携を図るためのネットワーク構築支援を実現します。
- ・野菜工場への税制優遇による誘致、川口ジャンクション周辺の開発により倉庫運送業を誘致します。

8、行政の徹底した無駄の排除

- ・市長退職金約2,300万円をゼロにします。
- ・市民参加型の事業仕分け・事業査定を開始及び外部評価の充実を図ります。

9、脱原発・放射線対策

- ・原発依存度を早急に下げて原発ゼロに、世界に先駆けて自然エネルギーを推進するよう国に川口から訴えます。
- ・市内各所の放射線量測定継続、給食食材の放射線量測定の厳格化を図ります。
- ・遊休農地を活用するために、自然エネルギー設置許可を取りやすくします。

